



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場会社名 ビートレンド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4020 URL https://www.betrend.com
 代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）井上 英昭
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営企画室長 （氏名）若松 賢司 TEL 03 (6205) 8145
 半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（決算説明動画を配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	571	0.7	△20	—	△20	—	△24	—
2024年12月期中間期	567	4.4	57	44.1	56	43.7	42	59.0

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△11.47	—
2024年12月期中間期	19.56	19.29

（注）2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	952	860	89.8
2024年12月期	995	883	88.4

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 855百万円 2024年12月期 880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,249	8.1	△48	—	△48	—	△50	—	△23.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	2,200,400株	2024年12月期	2,200,400株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	44,642株	2024年12月期	44,642株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	2,155,758株	2024年12月期中間期	2,153,753株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。なお、決算説明動画を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）当中間期の経営成績の概況

当社は、「私たちは、顧客価値を創造するプラットフォームを提供し続けることで、社会に貢献します。」を経営理念とし、主にCRM（注1）のSaaS（注2）事業を運営しております。

また、2024年2月に公表（2025年2月一部修正）した中期経営計画において、「変わりゆく社会において顧客と共に成長するため、これまで培ってきた経験と実績にさらに磨きをかけ、より大きなバリューを提供する。」を「Betrend VISION」として定め、積極的な投資を行う成長フェーズとして2024年12月期から2026年12月を対象期間とする3年計画を掲げました。

① CRMサービス

当中間会計期間では、第1四半期に新規導入いただいた地方食品スーパー店、大手生協、多店舗展開する洋雑貨店、多店舗展開するアクセサリ販売店など5社に加え、総合衣料小売りチェーン、外食チェーン、地方ホームセンター等7社に当該企業の公式アプリやLINEミニアプリに当社のスマートCRMプラットフォームを新たに採用いただきました。結果としてスマートCRMサービスのARR（注3）は762,683千円（前年同期比7.0%増）となりました。一方、メールマーケティングサービスのARRは193,647千円（前年同期比9.3%減）となったことで、CRMサービス全体のARRは、956,331千円（前年同期比3.2%増）となりました。

当中間会計期間末時点の会員数は、新規顧客による会員獲得や、既存顧客による継続的な会員獲得活動により、34,786千名（前年同期比8.9%増）となりました。これに伴い従量料金の売上も増加し、スマートCRMサービスの売上高の増加に寄与いたしました。

当中間会計期間末時点のスマートCRMサービスの契約社数は、小売業を中心に12社の大口新規案件を獲得した一方、飲食業を中心に8社の中小案件の解約があったため、186社（前年同期比1社減）となりました。一方で、メールマーケティングサービスの契約社数は369社（前年同期比47社減）となったことで、CRMサービス全体の契約社数は、555社（前年同期比48社減）となりました。

これらの結果、当中間会計期間のCRMサービスの売上高は、482,148千円（前年同期比2.5%増）となりました。

② カスタマイズサービス

導入時の顧客企業の既存システムとの連携開発費や、顧客ニーズに合わせたシステム構築費、初期費、SMS利用料等で構成されるカスタマイズサービスの当中間会計期間の売上高は、84,976千円（前年同期比8.7%減）となりました。

③ その他サービス

DM印刷売上や、決済手数料、新規事業（GX関連）等で構成されるその他サービスの当中間会計期間の売上高は、4,308千円（前年同期比16.6%増）となりました。

当中間会計期間においては、中長期的な成長に向けての人材・開発関連、インフラ関連及びマーケティング関連の成長投資を計画的に実行していることから、売上原価は293,938千円（前年同期比13.3%増）、販売費及び一般管理費は298,203千円（前年同期比19.0%増）となりました。

これらの結果、当中間会計期間における業績は、売上高は571,434千円（前年同期比0.7%増）、営業損失は20,707千円（前年同期は営業利益57,114千円）、経常損失は20,396千円（前年同期は経常利益56,799千円）、中間純損失は24,718千円（前年同期は中間純利益42,121千円）となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（注1）CRM：顧客関係管理を意味する用語です。当社が提供するスマートCRMプラットフォーム「betrend」は顧客関係管理をするためのサービスであるため、CRMサービスと表現しております。

（注2）SaaS：クラウドで提供されるソフトウェアのことを指します。企業側にソフトウェアをインストールするのではなく、クラウドを通じてオンライン上でソフトウェアを利用することで、顧客は常に最新版のソフトウェアを利用することができます。

（注3）ARR(Annual Recurring Revenue):年間経常収益のことで、月額定額課金に加えて、会員数や通信料に応じた従量料金や店舗毎課金を組み合わせた年間契約で提供することで獲得する年間契約金額です。

当社は、以下の計算式で算出しております。

期末ARR = 期末月のMRR × 12

MRR(Monthly Recurring Revenue):月間経常収益のことで、月額定額課金に加えて、会員数や通信料に応じた従量料金や店舗毎課金を組み合わせて提供することで獲得する月間契約金額です。売上高のうちリカーリングの性質の売上高を月額で表した金額です。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は673,580千円となり、前事業年度末に比べて134,379千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金の減少によるものであります。

固定資産は278,866千円となり、前事業年度末に比べて91,290千円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の増加によるものであります。

これらの結果、資産合計は952,446千円となり、前事業年度末に比べて43,088千円の減少となりました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は78,589千円となり、前事業年度末に比べて33,181千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等、その他の減少によるものであります。

固定負債は13,375千円となり、前事業年度末に比べて13,375千円の増加となりました。これは、資産除去債務の計上によるものであります。

これらの結果、負債合計は91,964千円となり、前事業年度末に比べて19,806千円の減少となりました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は860,481千円となり、前事業年度末に比べて23,282千円の減少となりました。これは主に、中間純損失の計上によるものであります。

（キャッシュ・フローに関する説明）

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて98,302千円減少し、499,592千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は21,861千円（前年同期は127,310千円の増加）となりました。主な要因は、減価償却費の計上、売上債権の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は120,163千円（前年同期は32,998千円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増減はありませんでした（前年同期は16,654千円の減少）。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期の通期業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	597,895	499,592
売掛金	143,884	115,154
仕掛品	1,499	2,468
その他	64,776	56,443
貸倒引当金	△96	△78
流動資産合計	807,959	673,580
固定資産		
有形固定資産	8,164	83,269
無形固定資産		
ソフトウェア	46,808	129,233
ソフトウェア仮勘定	72,205	17,911
その他	0	0
無形固定資産合計	119,013	147,144
投資その他の資産	60,397	48,451
固定資産合計	187,575	278,866
資産合計	995,535	952,446
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,734	39,227
未払法人税等	10,945	4,077
その他	58,090	35,284
流動負債合計	111,770	78,589
固定負債		
資産除去債務	—	13,375
固定負債合計	—	13,375
負債合計	111,770	91,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	316,442	316,442
資本剰余金	246,442	246,442
利益剰余金	353,570	328,851
自己株式	△36,400	△36,400
株主資本合計	880,056	855,337
新株予約権	3,708	5,144
純資産合計	883,764	860,481
負債純資産合計	995,535	952,446

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)	当中間会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)
売上高	567,280	571,434
売上原価	259,479	293,938
売上総利益	307,800	277,496
販売費及び一般管理費	250,685	298,203
営業利益又は営業損失 (△)	57,114	△20,707
営業外収益		
受取利息	26	310
その他	—	1
営業外収益合計	26	311
営業外費用		
株式交付費	90	—
支払手数料	53	—
支払解決金	197	—
その他	0	—
営業外費用合計	341	—
経常利益又は経常損失 (△)	56,799	△20,396
特別利益		
資産除去債務戻入益	24,072	—
新株予約権戻入益	—	133
特別利益合計	24,072	133
特別損失		
固定資産除却損	18,794	0
特別損失合計	18,794	0
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	62,077	△20,263
法人税、住民税及び事業税	18,378	563
法人税等調整額	1,577	3,892
法人税等合計	19,956	4,455
中間純利益又は中間純損失 (△)	42,121	△24,718

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)	当中間会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	62,077	△20,263
減価償却費	22,440	29,189
株式報酬費用	421	1,568
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	△17
受取利息	△26	△310
株式交付費	90	—
売上債権の増減額 (△は増加)	14,945	28,729
棚卸資産の増減額 (△は増加)	503	△968
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,683	△4,921
固定資産除却損	18,794	0
資産除去債務戻入益	△24,072	—
新株予約権戻入益	—	△133
その他	34,943	△4,188
小計	133,791	28,685
利息の受取額	2	286
法人税等の支払額	△6,483	△7,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,310	21,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,039	△68,539
無形固定資産の取得による支出	△30,959	△51,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,998	△120,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	505	—
自己株式の取得による支出	△17,919	—
新株予約権の発行による収入	760	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,654	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	77,657	△98,302
現金及び現金同等物の期首残高	568,485	597,895
現金及び現金同等物の中間期末残高	646,143	499,592

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。